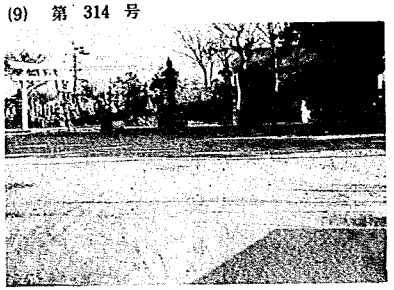
ふるさとのはなし 新聞 (15)

蛇になったお婆



婆池の伝説が語りつがれている川口の神社脇広場

川口部落には、いつの頃からか、お婆が蛇になって池に入ったという婆池の話が伝わっています。

昔、川口の藤作家の婆さんは、とても根性まがりで、村人のにくまれ者でしたが、とくに、嫁いじめは評判でした。

ところが、この婆さん、どうしたことかお寺詣りにはよく出かけました。ある日のこと、いつものように婆さんが近くの改観寺さまへお詣りに行った留守に、嫁さんが、味噌の小出しをしようと味噌倉へ行って見ると、一メートルくらいの蛇が、味噌桶のふたの上にとぐろを巻いていました。嫁さんは、蛇が味噌桶の上へ登ると、味噌がすっかりくさるということを聞いていましたし、蛇が以前にもたびたび味噌桶の上にいたことがあったのでたまりかね、いろりにあった焼火箸を取ってきて、いきなりとぐろを巻いている蛇の頭におし当てました。

丁度その時、お寺で坊さんの説教を熱心に聞いていた婆さんが、突然、キャッという悲鳴をあげて倒れました。一緒にお詣りしていた人たちが介抱して見ると、婆さんの顔に、ハッキリと焼火箸の跡が残っていたということです。つまりこれは、嫁さんに味噌を自由にさせまいという婆さんの一念が、生きた蛇になって、味噌桶の上でじゃまをしたのでした。

婆さんは、やけどの痛みと自分の心の恥ずかしさにたえかねね、そのまま家へは帰らずに、本当の蛇身になって、鎮守のかたわらの池に身を沈めたということです。それ以来村人は、この池を婆池と呼ぶようになりました。

その後、寺詣りの好きな婆池の蛇が、たびたび鐘楼に登って、尻尾でつり鐘をばばとうとう巻いたので、とうとう鐘にひびが入ったとか、一日のうちに婆池の色が何回も変わるとか、婆池の水はつきることがなく、水が減ってくると、必ず大雨が降る、それは、婆が姿を見せたくないために大雨を降らせるなど、婆池にまつわるいろいろな伝説が語りつがれました。

その後、時代の移り変わりと共に、村人の相談で子どもの遊び場にしようということに話がまとまり、昭和四十三年頃、婆池も埋立てられました。そして、いまは子どもたちの運動場や野球場として生まれ変わり、婆池伝説も、遠い昔の語りぐさになろうとしています。

新津郷土史研究会 石川新一郎

消費者コーナー

表示は消費者のためのもの

緑茶の原産国表示

外国産製を国産製としたり国産製に外国産製をまぜあわせ、その全部が国産製であるとみせかける表示などは「不当表示」として法律で禁止されています。（その反対にいかにも外国製であるかのような表示）――今回は、緑茶の原産国表示の一例を…。

× × ×

日本人は、よくお茶を飲みます。このお茶は、国内でばかりできるとは限りません。お茶にしても、いろいろな表示がされています。これからは、よく注意して見てみましょう。

緑茶の原産国は「荒茶」の製造の行われた国とされています。ちょっと、右の表を見てください。国産茶に外国産茶を混入した緑茶の原産国は日本と台湾のように表示されています。また、原産国の表示方法は、二国以上については配合量の多い順か、または表のような表現で表示されています。

みんなでいろいろなことを知って、かしこい消費者になりましょう。

荒茶製造国	再加工国	原産国	表現方法（例示）
台湾	台湾	台湾	原産地台湾
台湾	日本	台湾	原産地台湾
日本	日本	日本	日本茶五一％以上台湾茶四九％以下「原産地日本・台湾」
台湾	日本	台湾	日本茶四九％以下台湾茶五〇％以上「原産地台湾・日本」
日本	日本	日本	配合率の多い順に列記し、三国以上はその他とする
台湾	台湾	台湾	
ケニヤ	台湾	ケニヤ	
インド	台湾	インド	

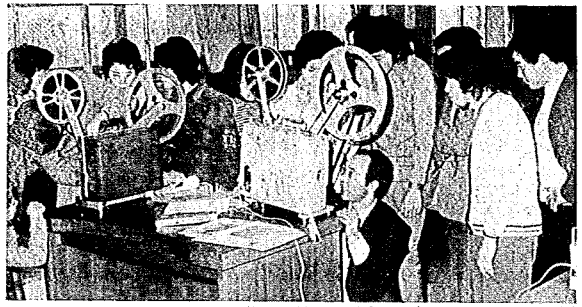
お買物、ご用命は市内で

委細 電話 談

心をつなぐ 新津電報電話局

▼あわてず落ちついて…

アパートで火災が発生、みなさんおちついて係員の指示に従って行動してください――学校の鉄筋化や建物の高層化が増えてきたため、消防署では、救助訓練とあわせ市民の避難法などの理解をはかっています。今日は、山谷地内の国鉄アパートでの訓練に、みんなで汗を流しました。



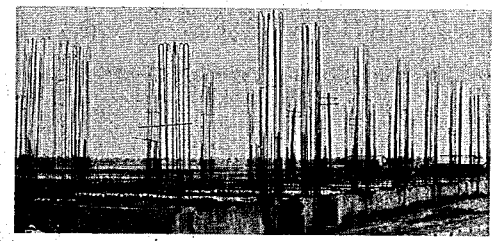
▲映写機操作はまかせて

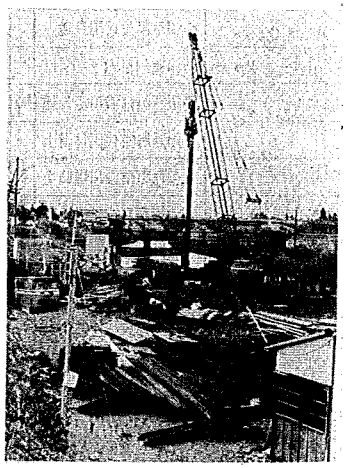
ことしも6日と7日の2日間、市民会館で16ミリ映写機の操作技術講習会が開かれて、45名が受講しました。受講生みんなは、大切な視聴覚活動のにない手たち。映写に必要な電気知識から実際の操作技術など熱心に勉強。実技検定も受けました。

カメラスケッチ

▼第三小、工事は急ピッチです

第三小学校の建設工事が、山谷地内で急ピッチで進められています。いまでは、全部のクイ打ちも終わって、校舎の土台のコンクリート打ち。近く本体工事にもかかるなど順調です。今後とも第三小は、鉄筋校舎3とうと、屋内体操場の工事を急ぎ、明春からの開校をめざします。





▲もうすぐなくなる「三の堰」

能代川の下流にかかる三の堰（川口地内）の撤去工事が着ちゃくと進められています。現在の堰は昭和23年に作られたもので、近隣に農業用水を供給するなど、重要な役割をはたしてきました。この撤去工事と農業用水を送るポンプは、もうすぐ完成する予定です。

お買物、ご用命は市内で

看板■車輌文字専門
技術本位……
有限会社 二本看板店
新津市本町1 TEL (2)―1380

MEN'S LADY'S ダーバン
スーツ・コート セーターがある!!
レデース
いちだ 新津市本町2 ☎(4) 0648
MiMi ☎(4) 0658